

Masuko Newsletter



特定医療法人衆済会 増子記念病院 ニュースレター Vol.9

カプセル大腸内視鏡検査について



◆カプセル大腸内視鏡検査とは

超小型カメラを内蔵した長さ31.5mm×11.6mmのカプセルを口から飲み込むだけの内視鏡検査です。カプセルは消化管を通しながら画像を撮影し、画像を記録装置に転送します。医師はこの画像をもとに大腸の診断を行います。

カプセル大腸内視鏡検査により
下部内視鏡（CF）使用時と比較し、
ほぼ同様の所見を得ることができます

◆カプセル大腸内視鏡検査のメリット

通常の大腸内視鏡検査と異なり、侵襲性が低く、鎮静剤が不要です。

また、怖い、恥ずかしいといった、患者さんにとっての精神的負担が少ないといった利点があります。

◆当院の実績など

2015年1月から検査を始め、180例ほどの患者さんに施行いたしました。（2017年11月現在）

2016年3月に前処置の方法を変更したことにより、カプセル排出率は、77%から95%と上昇しています。

また、透析患者さんも検査実施が可能です。

発表論文（**HOTTA N. Usefulness of Castor Oil for Bowel Preparation for Colon Capsule Endoscopy in the Patients on Dialysis J Med Imaging 2017 2017, 7, 263-267**）

◆保険適用について

以前、腹腔内の癒着により内視鏡検査ができなかった

大腸内視鏡検査が必要であるが腹部手術歴があり癒着が想定される

といった場合において保険適用となります。

※保険適用がされない方であっても、自費であればどなたでも健診として検査が可能です。（12万円＋消費税）

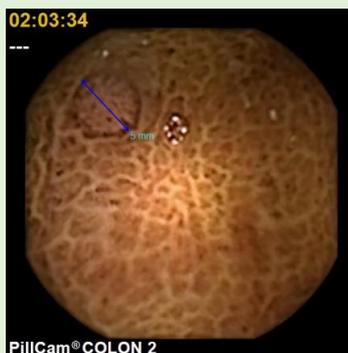
◆検査の実施について

本検査は、月、火、木、金曜日に実施可能です。

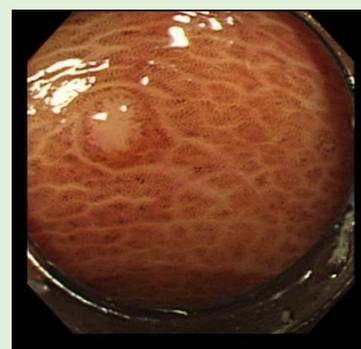
検査前に一度外来受診をしていただきます。検査を希望される場合、消化器・肝臓外来(堀田)に予約をしてください。

担当医師：消化器・肝臓外来 堀田 直樹（日本カプセル内視鏡学会認定医）

カプセル内視鏡でのポリープ検出例（左）



↑カプセル内視鏡（CCE）使用



↑下部内視鏡（CF）使用